

## 平成27年度第2回平地域審議会会議録

- 1 開催日時 平成27年10月13日(火曜)午後3時30分から17時15分まで
- 2 開催場所 南砺市平行政センター 第2会議室
- 3 出席委員 8名 平本 和雄 坂本 勲 永森 常次 宮本 佳子  
池田 實 上野 真希 水口 育子 吹上 都
- 4 欠席委員 5名 表 久義 長田 一政 明瀬 吉央 上口 貴史 折口 律子
- 5 市側出席者 長澤市長政策室長 上口行革・施設再編課課長  
石崎施設再編係長 平行政センター長 平行政センター次長
- 5 傍聴者 無

### 6 協議議題

- ① 公共施設再編計画策定について

### 7 会議経過

#### ○開会

事務局(センター長)から開会の宣言を行う。

#### ○会長あいさつ

永森会長あいさつ

#### ○市長政策室長あいさつ

長澤室長あいさつ

#### ○協議議題

永森会長が議長となり、順次議事を進める。

(議長) 議題1 公共施設再編計画策定について資料説明を求める。

(長澤室長) 挨拶を兼ねて資料の説明を行う。

(上口課長) 資料の詳細説明を行う。

(議長) 質疑を求める。

(水口委員) 体育館施設について、マウンテンスクールは避難場所として指定されているが、施設として残してほしいのだが施設再編上の配慮はされるのか。

農業振興施設として整備されたふれあい温室ですが、となりのつつじ荘利用者からも見えているがガラスが割れて大変見苦しいが速やかな撤去をできないか。

(議長) その施設は全然使用されていないのか

(上口課長) 温泉の熱利用施設として建設されたが現状の状況であれば確かに意見のとおりだと考えます。

避難施設の位置づけとして公共施設ばかりが避難施設ではないのでその

施設の他に代替え施設がないのか検討すべきと考える。

(議長) 現実としてその施設に避難できるのか考えるべきではないか。

(上口課長) 確かに平地域は集落間も離れており地滑り指定地だらけであり安全な箇所に避難できるかケースバイケースで考慮する必要があるのではないでしょうか。

避難場所に指定されているから公共施設として必ず残すとは考えていません。

(長澤室長) たしかにそうです。しかし床面積が増えないように工夫しています。例えば起業家支援センターは旧城端厚生病院の建物を改修して整備をしました。上平では診療所については建て替えですし、旧上平中学校は周辺施設も含めて一括取り壊しを予定しています。

不要施設・用地の払い下げも鋭意進めます。

(平本委員) 短期・中期・長期という区分があるがその多くは短期の判断が求められる施設が大半だ。

譲渡できる施設というのが本当にどれほどあるのか教えてほしい。

何割という数字はあるのか。

(上口課長) 学校・保育園という存続必須分野が1/3で、その他が縮減対象に考えられる。

(長澤室長) 施設縮減して職場が消滅し一層の人口減少が進むようなことになれば本末転倒の結果にもなりかねないので、そこはよく考えて進めます。

春光荘のような集約施設への転換を進めたい。平地域では50施設あるので半減を目指して譲渡・転用を進めた。

(平本委員) 資料で示された考え方は首肯できるが山間地はこれ以上の集約は気象条件を含め難しいのではないか。

(長澤室長) 施設縮減して職場が消滅し一層の人口減少が進むようなことになれば本末転倒の結果にもなりかねない。

施設の廃止がどれだけの経済的な影響が生じるのかを試算はしたいと考える。経済的な影響がどれだけあるかを示して検討したい。

もちろん、特定の人だけに経済的な恩恵があるのであればその人に譲渡してゆきたい。

(池田委員) 添付の議決事項は既に議決されたものか。

- (長澤室長)        そうです。このような議決をされたものは全国でも珍しいようです。
- (池田委員)        個人的には五箇山地域にこれだけの体育館が必要なのか疑問だ。  
それと新築の場合は面積縮小が原則か。
- (長澤室長)        そうです。人口減少社会で面積増は考え難い。  
3つの施設を個々に建設するのではなく統合施設で対応できないかという  
ことです。  
南砺市で今現在、他市に比較して不足の施設は無いと思う。
- (池田委員)        縮減がどうしても正面だって意識されるのではないか。
- (長澤室長)        知恵を絞ってもこれしかないというのであればそのときは新築すること  
もやぶさかではないがそのときは不要施設を縮減するというものです。
- (坂本委員)        五箇山の住民の知恵だけでは限界がある。上梨集落ではこきりこ館のよう  
な大きな施設の指定管理を受けており四苦八苦している。施設の民間利活用  
に良いアイデアはないか。
- (長澤室長)        複合化が一つの回答ですし、用途転用や貸し出しも一つだと思う。それと  
定住にかませることで「暮らしません課」も関わり有効利用を今後考えてゆ  
きたい。  
こきりこ館は用途変更してゆくことも必要だろう。
- (坂本委員)        集落で維持するには大きすぎる。指定管理の話ではもらってほしいといわ  
れたが本当に困っている。活用したいのはみんなも心は一緒だが如何せん重  
荷になっている。
- (上口課長)        そこは小谷コミュニティ施設も同様なだと思う。
- (平本委員)        小谷コミュニティ施設の話が出たので、これも一集落で利用しているとい  
うのではなく小谷地区で利用している施設だ。リニューアルについての方向  
はどうなっているか。
- (上口課長)        基本的には受領していただけるのであればその際にはリニューアルして  
譲渡することは一考だ。
- (平本委員)        使えなくなったら壊すということか。
- (長澤室長)        受けていただけるのであれば取り壊しコストから行政は開放されるので

すからそれに見合うほどの改修する譲渡することを約束します。

(宮本委員) じつは JA から現在のなないろハウスを譲渡されて、固定資産が高止まりしている。そのため取り壊し貯金をしている。  
改修できないのであれば取り壊ししてほしい。

(長澤室長) 集会施設の固定資産税は市で減免できるので話し合いだと思う。

(宮本委員) 丸山荘は仕出しを請け負っておりなくなると平野部に依存せざるを得なくなる。町なら複数あるが山間地は唯一だ。  
たいらスキー場は国体も誘致する施設です。  
県下の位置づけも考慮する必要があるのではないのでしょうか。  
富山県で平スキー場の支援をすることも要請できないか。

(長澤室長) 不利地については山間過疎条例の位置づけもあるので配慮はします。  
財政的には南砺市より富山県の方が財政的に苦しいのでスキー場の支援は無いと思います。  
スキー場は譲渡先がないからといって畳むこととイコールではありません。

(宮本委員) 新聞にスキー場と宿泊施設の譲渡が掲載されたが本当か。

(長澤室長) 行革審議会の資料で従前より決定事項ではなくこれから地域に出向いて説明にゆきますという内容をあのように煽るような見出しをつけて記事にしたもので困っています。

(宮本委員) 市民病院や南砺中央病院等の医療施設の位置づけはどこにあるのか。

(長澤室長) 今回の施設再編計画には公営企業会計にある病院施設や上下水道施設は含まれていません。  
公営企業法で経営努力をすることが前提ですから。  
しかし、病院については経営改革プランで位置づけて取り組んでゆきます。  
但し、現実論で一方を畳むと7万人の医療難民が発生し、近隣に流失してしまうと残された病院の方も経営が立ち行かなくなるというジレンマにあります。  
もちろん、このままで良いとは考えていません。

(池田委員) 平の行政センターのコストが低いのはなぜか

(上口課長) 行政部分だけの床分だからです。複合施設の利点です。

- (平本委員) 今夜の説明はどうなるのか。  
短期・中期の話をしてほしい。地域条件の違いもある。
- (池田委員) 平庁舎はコンパクトで工夫もされている。行政センターの予算を持たせてくれれば地域も元気になるのではないか。
- (長澤室長) 利賀村でも小さな拠点づくりを進めている。民間機関も同居させる時代変化がある。  
南砺市では来年から施設利用を一セクションで管理する部局を設立する予定です。
- (上野委員) 障害者との共生について施設対応はどのように図ってゆくのか。例えば南砺市には車椅子バスケの練習ができる体育館がないという。  
近隣では練習可能な体育館があるという。南砺市はたくさんの体育館があるので多様なニーズに対応検討を図っていただけないでしょうか。
- (水口委員) 南砺市にはきれいな体育館ばかりだが使いづらいというのでは意味がないと思う。
- (長澤室長) 紫波町でバスケットボール専用体育館とすることで全国的大会誘致に成功している。  
多目的体育館は無目的体育館ということもいわれる。  
再編の中で目的別の用途を明確にしてゆくことも必要ではないか。
- (吹上委員) 図書館も再編計画に含まれているが人間形成に必要な不可欠な施設だと思うので大切に取扱ってほしい。  
平図書館は全国レベルの資料も収蔵しておりニーズもある。図書館司書も育ててほしい。
- (長澤室長) 今回の市民アンケートでも図書館のニーズは想定以上に高かったので、集約することは難しいことを痛感しました。
- (上口課長) 図書館については単館方式だけは見直すこととしたい。
- (議長) 最後に、欠席された折口委員から文書で質問を預かっておりますのでお尋ねします。  
①対応期間の欄で「短期に〇〇〇のあり方を検討」とありますが例えば小・中学校では「学校統合」を検討するということでしょうか。  
②資料3ダイジェスト版8頁⑦個別具体的な実施計画となる公共施設再

編計画を策定する。具体的検討を図る組織を必要に応じて設けるとありますが必要に応じてと判断する基準は何ですか。

③専門性の高い施設でしたら、その道の専門家の意見を聴いたり先行する事例を研究して判断願います。そして人口規模だけで減らすのではサービスの低下や生涯学習に係る影響が心配です。

④山間部では人口密度が低いのですが必要最低限の施設存続を強く希望します。

(長澤室長) これまでの説明でも延べましたが、①は山間過疎に配慮します。  
②行政だけでは進められないので市民参加する組織で検討します。  
③専門性の高い施設であれば当然専門家の意見を拝聴します。経済性の物差しだけで判断はいたしません。④そのようなことから人口だけの物差しで判断はいたしません。

(議長) ありがとうございます。  
今後の進捗予定はどのように図ってゆくのか。次回の審議会開催見込みは如何でしょうか。

(長澤室長) これから地域審議会と説明会を実施しその意見集約を図ります。次回開催はおおむね1月ごろ予定です。  
その際には地元の地域審議会の内諾をいただいた案をとりまとめてゆきたいと思えます。  
残す施設が多ければ基金もそれだけ積み重ねばならず本末転倒にもなりかねません。

(池田委員) 本日は大切な会議ですが欠席者も多くあった。  
事務方には開催時刻も配慮をお願いします。

(議長) 当初お示した時間もまいりましたので、これで質疑を終了したいと思います。

(センター長) 最後に宮本副会長から閉会の挨拶をお願いします。

(宮本副議長) 本日は想定以上の配慮の行き届いた回答で安堵しました。この地域に住んで良かったと思える地域づくりに取り組んでゆきましょう。

(センター長) 閉会の宣言をする。